

イーストスプリング インド投資マンスリー

2024年7月号

インド投資マンスリー
動画配信中！



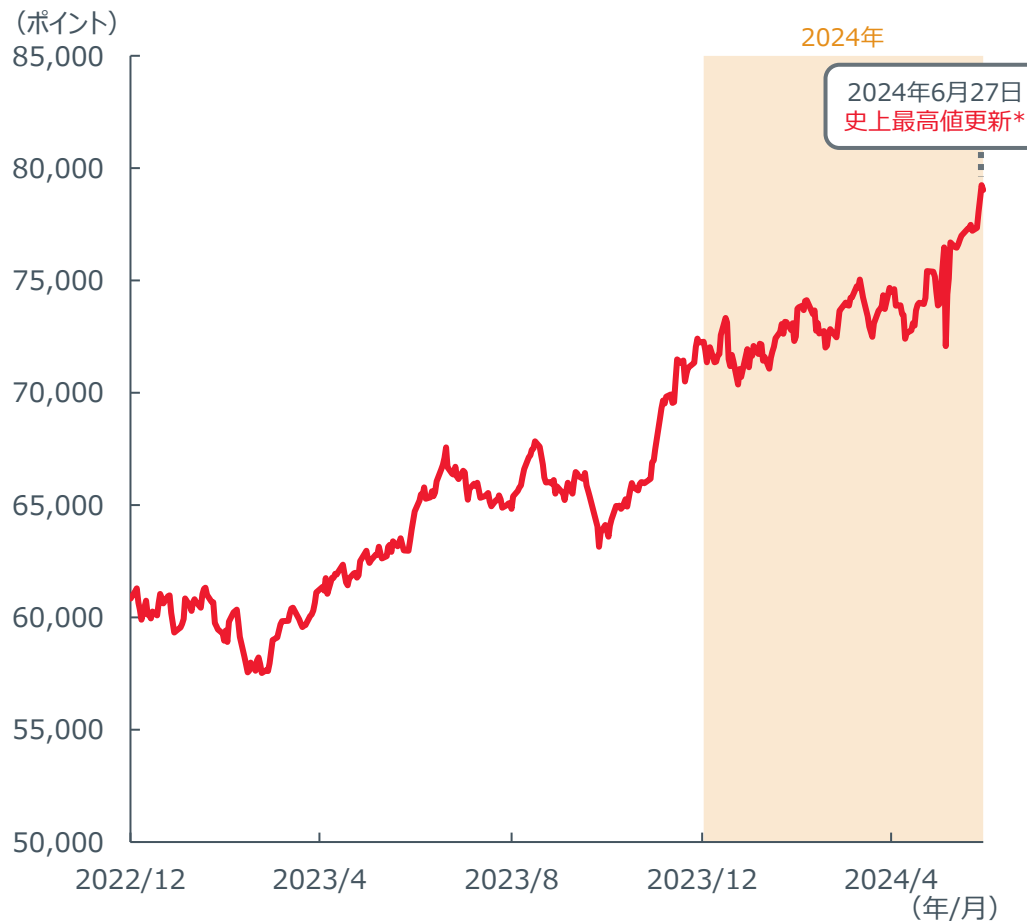
イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社である
ブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。

株式：値動きの激しい展開も、月末に最高値更新

SENSEX指数の推移 (2022年12月末～2024年6月末、日次)



2024年6月の振り返り

6月のインド株式（SENSEX指数）は月間で6.9%上昇しました。4日に下院総選挙の開票が始まると、与党インド人民党の想定外の苦戦状況が伝わり、同日のインド株式は約6%下落しました。しかし、インド人民党が主導する与党連合が過半数の議席を確保し、政策やインフラ支出に対する継続期待が高まったことから楽観的な見方が広がりその後反発、27日に最高値を更新しました。

セクター別では、IT、電気通信が騰落率上位となった一方、金属、公共事業は騰落率下位となりました。

投資主体別売買動向では、国内機関投資家、海外機関投資家ともに純流入となりました。

インド準備銀行（RBI、中央銀行）は7日の金融政策決定会合で、農村部と都市部の需要改善とモンスーン期**の降雨量が平年並みとの予測を背景に2024年度（24年4月～25年3月）のGDP成長率見通しを7.2%（前回7.0%）に引き上げました。

規模別指数の期間別騰落率 (2024年6月末時点)

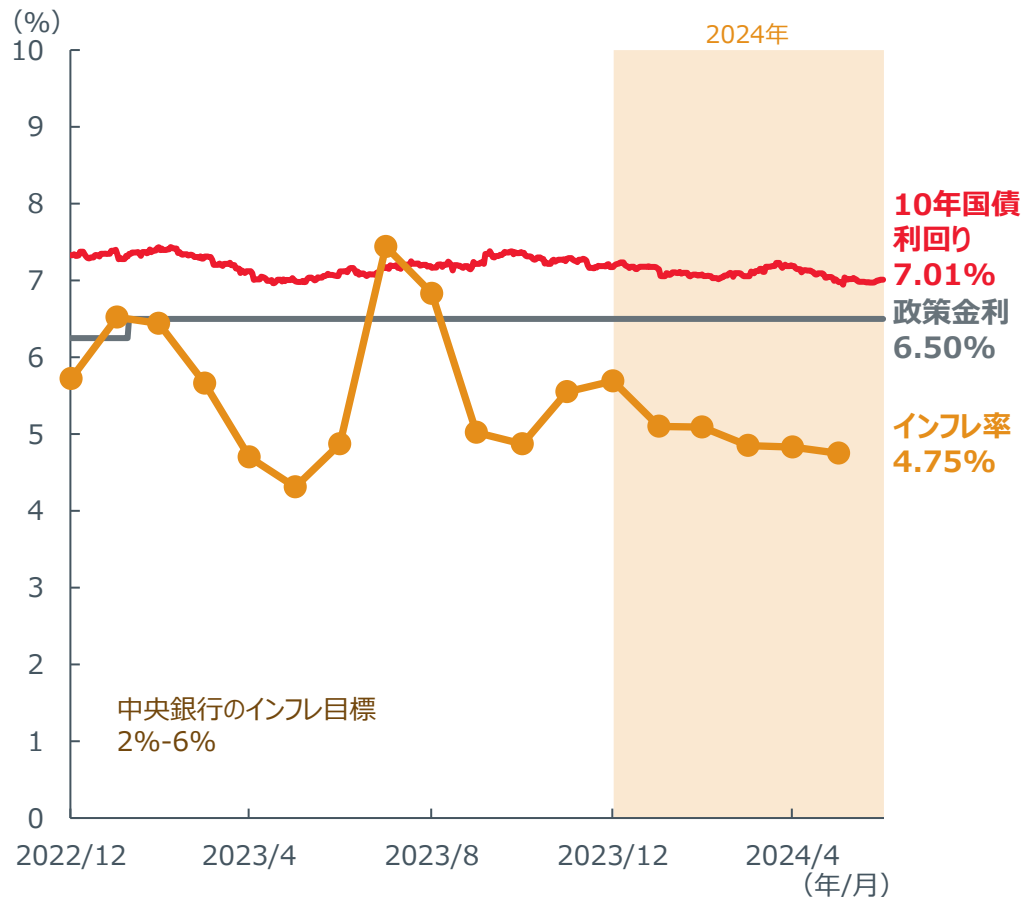
	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	6.9%	7.3%	9.4%
中型株 (BSE中型株指数)	7.7%	17.4%	25.3%
小型株 (BSE小型株指数)	10.3%	20.8%	22.2%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※全てプライス・リターン、インドルピーベース。*終値ベース。**モンスーンに関する動向については6ページ参照。

債券：インフレ率は低下、10年国債利回りは小幅上昇

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2022年12月末～2024年6月末、日次)



2024年6月の振り返り

10年国債利回りは小幅上昇（価格は下落）し、7.01%で月を終えました。

インド準備銀行（RBI、中央銀行）が7日の金融政策決定会合で政策金利を8会合連続で据え置いたことから債券利回りは上昇しました。また、下院総選挙の予想外の結果も利回り上昇要因となりました。

しかし、7月下旬に発表予定の2024年度（24年4月～25年3月）の国家予算案で、政府が財政赤字目標を堅持するとの期待から投資家心理が改善したことで、利回りは低下しました。

12日発表の5月のインフレ率は前年同月比+4.75%と、5か月連続の低下となりました。食品価格の上昇は続いているものの、燃料・電力価格が下落しました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2024年6月末	2024年5月末	変化幅
10年国債利回り	7.01%	6.98%	0.03%
10年社債利回り***	7.54%	7.52%	0.02%
利回り差	0.53%	0.54%	-0.01%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レポ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2024年5月まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA 10 Year Corporateの利回りを使用。

利回り差等については四捨五入の関係で数値間で整合しない場合があります。

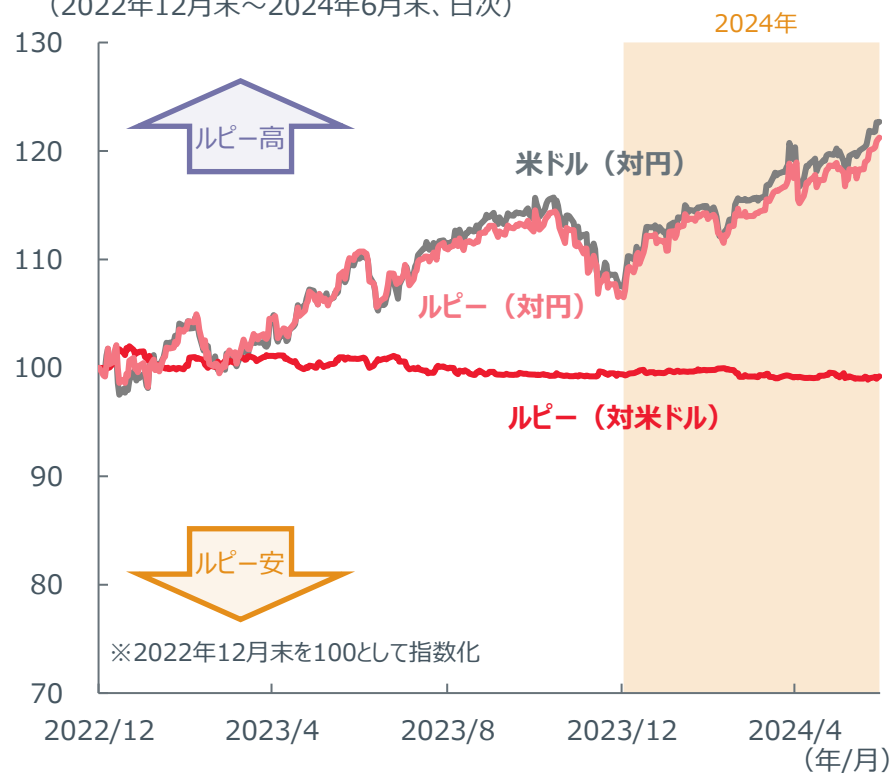
● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

為替：ルピーは対米ドル、対円ともに上昇

- 6月のルピーは、対米ドルで0.1%、対円で2.4%の上昇となりました。
- 2020年以降のルピーの動きをみると、他の新興国通貨と比べて対米ドルで相対的に安定した推移となっています。

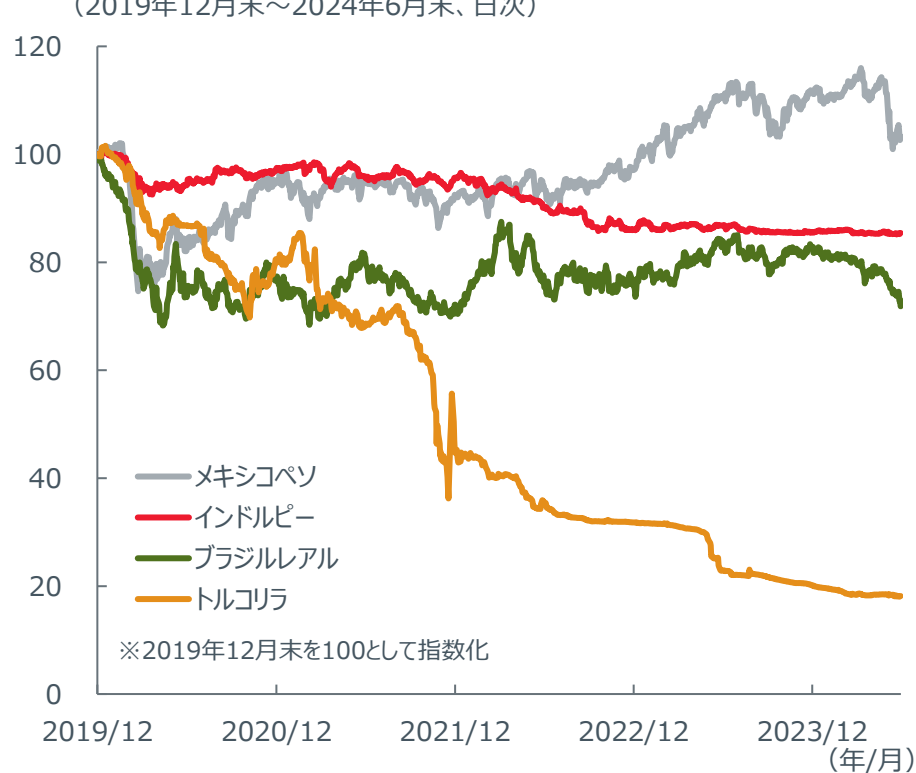
ルピー（対米ドル、対円）の推移

(2022年12月末～2024年6月末、日次)



主要新興国通貨（対米ドル）の推移

(2019年12月末～2024年6月末、日次)



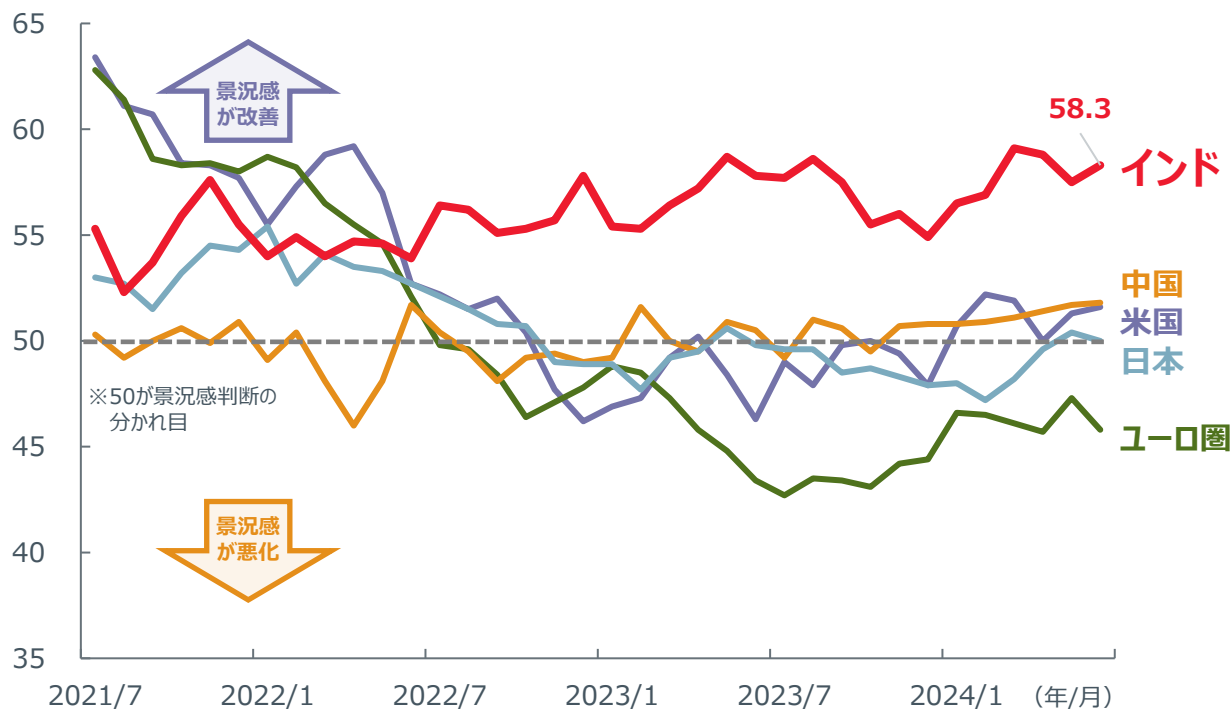
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インドの製造業PMIは主要国の中でも好調を維持

- インドの6月の製造業PMIは、堅調な需要を背景に新規受注や生産が拡大したことや雇用が高い伸びとなったことから、58.3と好調を維持しました。景況感の改善と悪化の分かれ目となる50を3年（36ヵ月）連続で上回っています。

各国製造業PMIの推移

(2021年7月～2024年6月、月次)



PMIとは：
 購買担当者景気指数のことで、企業の購買担当者へ新規受注や生産、雇用の状況などをアンケートや聞き取りによって景況感を指数化した景気指標。特に製造業PMIは鉱工業生産や雇用統計などと比べて、景気動向の変化をいち早く示す指標として市場関係者から注目される。

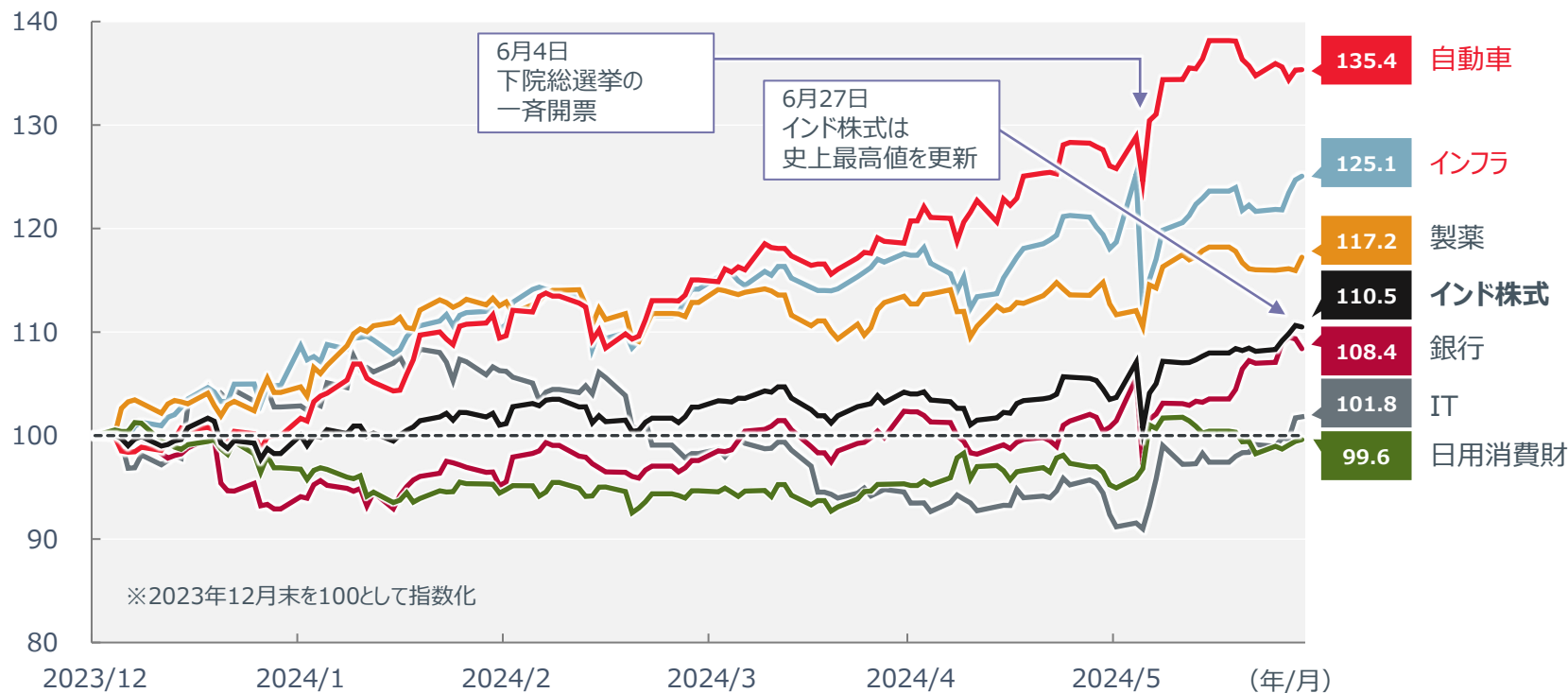
出所：Bloomberg.L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベスメンツ作成。

2024年前半：インド株式の振り返り～6月に史上最高値を更新

- インド株式は、1月から3月にかけて、下院総選挙における与党勝利への期待感や良好な企業決算などを背景に上昇しました。その後、6月4日に下院総選挙の一斉開票が行われ、モディ首相率いる与党『インド人民党（BJP）』が事前予想に反して単独過半数に達しなかったことが明らかになり、インド株式は大きく下落しました。しかし、最終的にはBJPが主導する**与党連合が過半数を維持し、モディ首相の続投が決定**したことから、これまでの**政策維持への期待**が広がり、インド株式は反発をみせ、6月27日には**史上最高値（終値ベース）を更新**しました。
- セクター別では、**自動車、インフラ**などが相対的に堅調に推移する一方で、日用消費財は軟調な結果となりました。

2024年前半のインド株式と同セクター指数の推移

(2023年12月末～2024年6月末、日次)



出所：Bloomberg, L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 インド株式：Nifty50指数、各セクター指数：Nifty各セクター指数。全てプライス・リターン、現地通貨ベース。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

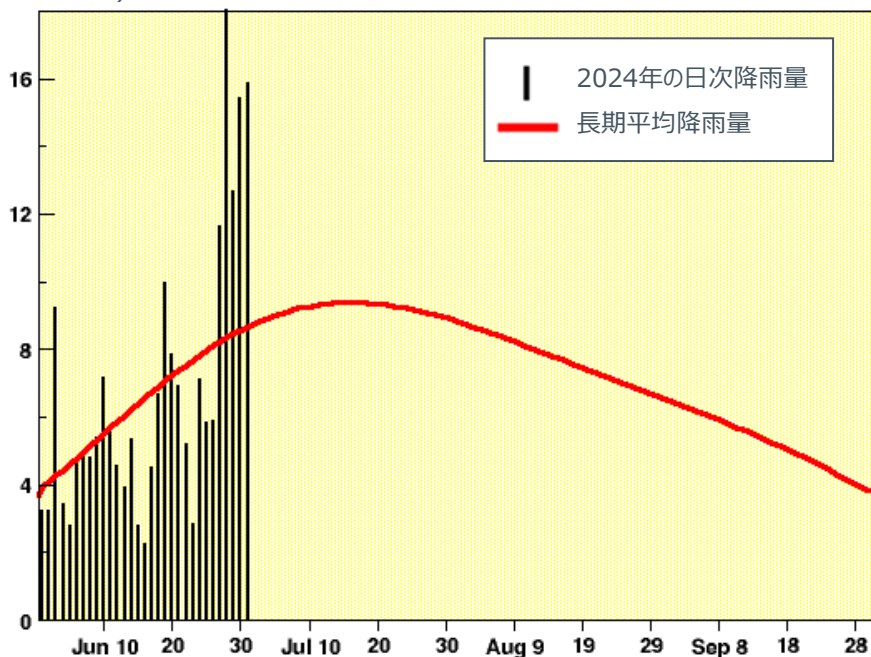
モンスーン期（6-9月）降雨量の途中経過

- 毎年6月から9月頃にかけての雨季のことを『モンスーン』と言います。インドの主要産業である農業は、農業用水の多くを**モンスーンがもたらす雨に依存**しているため、モンスーンの降雨量は農作物の収穫に大きな影響を与えます。また、消費者物価指数（CPI）の構成比の**約5割を食料品価格が占める**ことから、モンスーンの降雨量予報は金融市場でも注目されています。
- 今年のモンスーンは5月30日にケララ州に到来したものの、その後の進行は停滞していたため、**6月の月間降雨量は**当初のインド気象局（IMD）の予想*に反して**平年を下回る水準**となりました。しかし、**6月の最終週の降雨量はモンスーンの進行が加速したため平年を上回る降雨量が記録**されています。またIMDは7月1日、**7月の月間降雨量が全国的に平年以上となる可能性が高い**と発表しました。

2024年モンスーン期：日次降雨量と長期平均降雨量

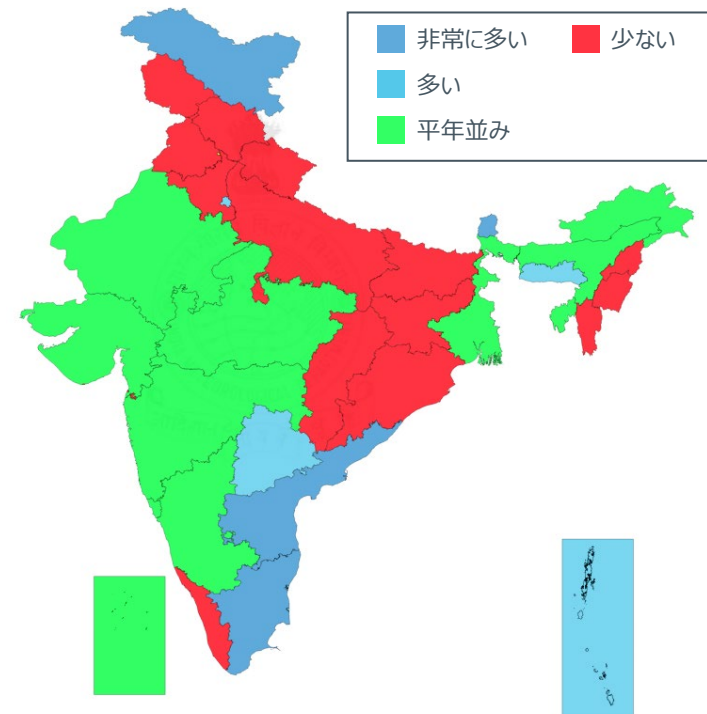
（2024年6月1日～7月1日、日次）

（単位：mm）



2024年モンスーン期：州別の降雨量**

（2024年6月1日～7月1日、累計）



出所：“Monsoon Online, Indian Institute of Tropical Meteorology”、インド気象局（IMD）、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*インド気象局（IMD）は5月27日、今年のモンスーンの降雨量の予想を更新（二次予報）し、一次予報と同様、モンスーンの降雨量（6-9月）は全国的に平年以上となる可能性が高い、との予想を維持していました。**長期平均降雨量との対比によるデータ。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。